

1【団体ツアー・若手ガイド育成プログラム】

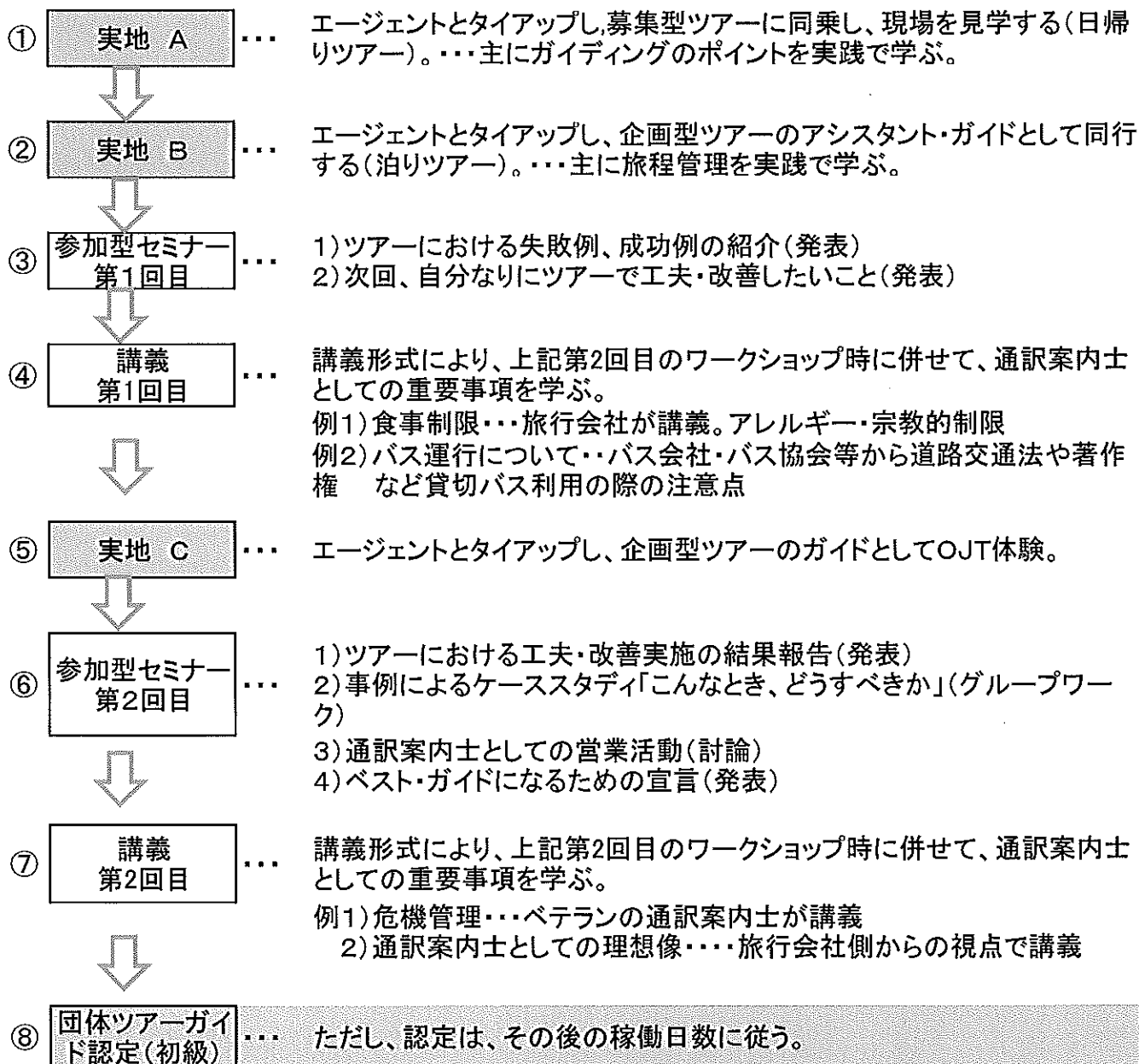
対象: 経験の浅い通訳案内士(稼働経験日数がおおむね50日以下位の人)

目的: 団体ツアーでの通訳案内士の資質向上

概要: OJTを踏まえた実践型・参加型の研修(団体旅行を想定)

期間: 2~3か月間

背景: 個人ツアーが増加しているものの、新興国の旅行熱やインセンティブは増えており、団体ツアーを難なく動かせる通訳案内士の育成は長期的に見て必要。また、いつまでもベテラン・ガイドにエージェントが頼っていたら世代交代が進まない。



*「認定」制度は、採用しなくても可。

2【スペシャル・インタレスト・ツアー・ガイド育成プログラム】

対象:すでにガイドの経験がある通訳案内士(人数限定)

目的:スペシャル・インタレスト・ツアーガイドの育成

概要:目的を定め、インタレスト・ツアーの研修を行う

期間:3~4か月間位(自主研修期間含む)

背景:昨今のインバウンドのツアーの多様化に伴い、スペシャルインタレスト・ツアーの需要が高まっており、ある特定分野のガイドができる通訳案内士の育成が期待される。

例) 富士登山ガイド

① 日本人客向け富士登山ガイドの育成と同様の研修を受ける

② 自主研修期間

外国人客を想定し各受講者が自主的に自己研さんを進める(レポートを作成)

- 1)どんな自主研修をしたか(目的・内容・結果・効果)
- 2)外国人客を対象にした際、どんな問題が予想されるか
- 3)外国人客のニーズや市場分析

③ OJT夏シーズンに実践的に少人数ツアーの場を提供し、数回体験する。

④ お客様(外国人)から必ずフィードバックを受ける。

⑤ ワークショップ:受講者が意見交換

- 1)自分の言語の外国人を案内する際の困った点、注意点(発表)
- 2)今後の改善ポイント(発表)
- 3)専門家からのアドバイス(講義)

⑥ 修了式

1~2年後から

⑦ 稼働日数に従い専門性を認定

同時に、後継者の指導に協力する

*「認定」制度は、採用しなくても可。

3【専門性高度化プログラム】

対象:すでにガイドの経験がある通訳案内士

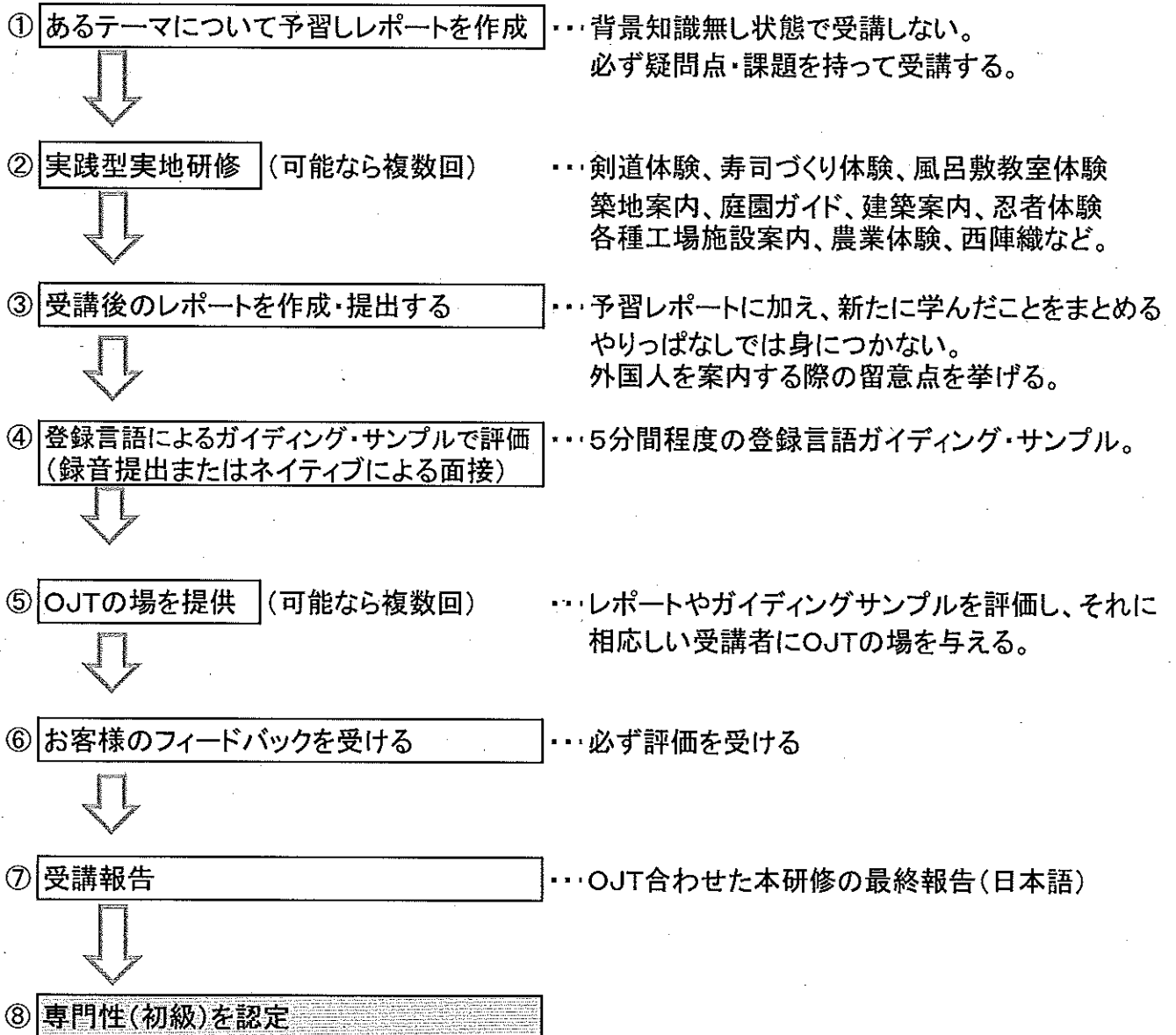
目的:外国人客のニーズに応えられる通訳案内士の育成

概要:目的を定め、各分野のスポット的に行う

期間:スポット的

背景:昨今のインバウンドのツアーの多様化に伴い、外国人客のニーズも多様化しつつある中、そのニーズに合せた通訳案内士の育成を進め適材適所を図る。

研修の流れ



*「認定」制度は、採用しなくても可。